医療法人　橘会　東住吉森本リハビリテーション病院

～ つなぐ ～

2023.4
Vol.23

高次脳機能障害があっても自動車運転再開、復職ができる！？

～当院の関わり方～

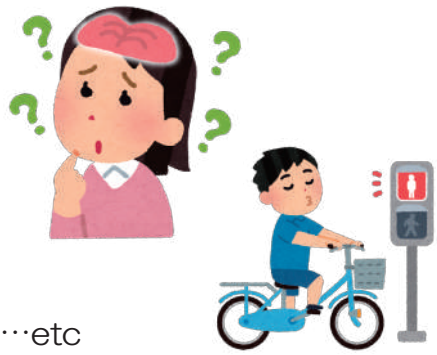
脳卒中（脳梗塞や脳出血）を発症すると様々な症状が出現します。その中でも今回は身体的な症状（麻痺など）は軽度ですが、高次脳機能（思考する力など）の症状がある方への当院の関わり方をお伝えしたいと思います。若くして脳卒中を発症してしまった患者さまにとって車の運転やお仕事の再開に関してはその後のライフプランに関わってきます。当院ではご病気後のフォローアップとして、患者さまそれぞれが感じる「社会復帰への壁」に対して、積極的にリハビリを行っています。

高次脳機能障がいって？

人間の脳は大きく分けて「呼吸や体温、覚醒リズムの調節などの基礎的な機能」と、「感情のコントロールや記憶する、注意を向ける、行動を計画するなど複雑な機能」である高次な機能の２つの働きをしています。脳卒中や事故（交通事故や転倒・転落など）によって脳が損傷されると、後者の高次な機能に障がいの出る場合があり、これを「高次脳機能障がい」と呼んでいます。

高次脳機能障がいの例

- 決まった時間に薬を飲んだり、火の管理が難しくなる
- 言葉は話せるが、人とコミュニケーションを取ることが難しい
- 物事の優先順位が決められない
- 頼まれたことを覚えておくことが難しい
- １つのことに集中できずに、注意散漫となってしまう
- 看板や信号などを見落としてしまい、危険な時がある　…etc



当院では

① 高次脳機能の底上げ　② 就労支援　③ 運転再開

の3本柱を中心に患者さまへリハビリを提供しています。

～復職への道のり～

高次脳機能障がいを発症した患者さまのなかにも、「まだまだ働きたい」「復職したい」という思いを持っている方たちは沢山います。私たちはその一人ひとりの思いと向き合い、仕事に復帰出来るように最大限お手伝いさせて頂いています。

①検査

まずは高次脳機能障がいの検査と併せて、仕事に関する聞き取りをさせて頂きます。どのような職種なのか？仕事の内容は？など様々な質問をします。そして現在の能力と照らし合わせ、何ができて、何が不足しているのかを検査していきます。

②リハビリの開始

一通りの検査が終わるとその情報を元に、作業療法士（OT）や言語聴覚士（ST）がリハビリを行います。作業療法では主に仕事に関連する身体の使い方などを練習し、言語療法ではプリント課題などで頭の使い方を練習し、身体機能や高次脳機能の底上げを行います。

③会社の方とやりとり

リハビリの中で行った検査をもとに、患者さまの身体機能や高次脳機能の特徴を細かく把握します。その情報をもとに患者さまはもちろん、家族さまや復職を考えている会社の方と今後の方向性（現職に戻ることができるのか、配置転換が必要なのかなど）について担当療法士を交えて話し合います。

④働きながらリハビリを継続

実際に復職できるようになったとしても、いきなりリハビリが終了してしまうと不安に思われる方もいるかと思います。そのため、すぐにリハビリを終了するのではなく、まずは働きながらリハビリを継続していくことが大切になります。

④新たに就職を検討しながらリハビリ

話し合いの結果、現職の復帰が難しいと判断された場合は就労移行支援事業所と協力し、新しい職場に就職できるようサポートしていきます。

④結果に合わせて訓練内容を変更

話し合いで現職復帰の方向性となったが、まだ改善が必要な部分が残っている場合、その部分に応じたリハビリ内容に変更します。そして②→③の流れで現職復帰へと近づいていきます。

Point！

就労支援事業所と協力し現場で疑似体験

就労支援事業所から紹介された職場で働きながらリハビリを継続していても、仕事がなかなか上手くいかない場合、就労移行支援事業所のスタッフが付き添い、原因の解決をお手伝いします。

⑤リハビリ回数を少しずつ減らして社会復帰

復帰した仕事に慣れてくれば、担当の作業療法士や言語聴覚士との話し合い、リハビリの回数を少しずつ減らしていきます。そして最終的にリハビリを終了し、晴れて社会復帰となります。

～運転再開への道のり～

自動車運転の再開は、復職と同じくらい高次脳機能障がいを発症した患者さまから希望が多く聞かれます。車の運転ができるようになると、日常生活の質も向上します。一方で交通事故などのリスクも生じてしまいます。少しでもそのリスクをなくせるように私達ができる限りサポートしていきます。

①検査

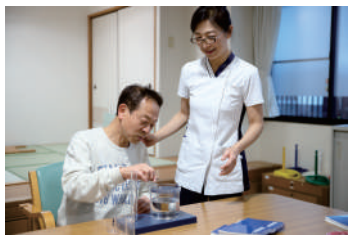
まずは大阪府の高次脳機能障害評価自動車運転モデル事業に準じた、自動車運転に必要とされる能力を検査させて頂きます。普段何気なくしている運転ですが、実は様々な頭の能力（高次脳機能）が必要になります。

②リハビリの開始

検査結果をもとに、どのような能力がもう少し必要なのかを判断し、担当の作業療法士（OT）や言語聴覚士（ST）がリハビリを行います。

③再検査

ある程度リハビリが進むと、最初と同じ検査をもう一度行います。検査で一定の基準を越えていれば、続いて実際に車の運転検査を行います。



④運転技能検査

当院と連携している近鉄自動車学校で実際に車を運転して検査します。この検査には自動車学校の指導員と担当の作業療法士（OT）が同乗し、運転に適性があるかどうかを判断します。

⑤運転免許試験場に書類を提出

今まで行った検査の結果をもとに、当院の医師が意見書を作成します。その意見書を運転免許試験場に提出し、運転再開となります。

※意見書に関しては患者様に取り寄せて頂く必要があり、その方法や時期に関してはこちらからお伝えさせて頂きます。

当院ではこのような流れで患者さまそれぞれのニーズに合わせたリハビリを提供しています。

ご興味がある方は一度当院にご相談ください。

～栄養科だより～

菜の花のサラダ（マスタードドレッシング）

＜作り方＞

① 菜の花は根元のかたい部分を切り落としておく。

② 鍋に塩とたっぷりの水を入れて火にかけ、沸騰したら30秒～1分程茹でる。

③ 茹でた菜の花は湯切りをし、氷水にさらし、冷えたら水気を絞る。

④ 鍋に水と卵をいれて中火で熱し、沸騰したら弱火にして8～10分茹でる。茹でたらお湯を切り、流水にさらして粗熱をとり、殻を剥く。

⑤ ゆで卵を半分に切り、白身と黄身を分ける。粗めのザルにそれぞれへらで押し付けてそぼろ状にする。

⑥ ボウルにドレッシングの材料と白身を混ぜ合わせる。

⑦ 茹でた菜の花、ドレッシング、黄身をお皿に盛り付けて完成。

材料（2人分）
- 菜の花：100g
- 塩：小さじ1

ゆで卵
- 鶏卵：1個

ドレッシング
- マヨネーズ：大さじ2
- 練りからし：小さじ1
- 牛乳：大さじ1
- 黒こしょう：少量

漢字クイズ

次の漢字はなんと読むでしょう？
ヒントを参考にしながら考えてみましょう！

① **蕨**
きな粉と合うヒンヤリしたデザートの材料です。

② **枝垂桜**
有名な桜の品種の1つです。

③ **針嘴魚**
細長い体で下顎が伸びています。

④ **鳳蝶**
羽ばたく姿は女王のよう…！

⑤ **甘藍**
トンカツと同じ皿に載ってきます。

⑥ **筆頭菜**
筆のようにも見えます。

⑦ **鬱金香**
咲いた～、咲いた～♪

⑧ **鰆**
関西では春を告げる魚として人気です。

答えは次のページの下部を見て下さい！

院長コラム　シリーズ㉒

大阪市中南部高次脳機能障がい包括ケアネットワークのご紹介

東住吉森本リハビリテーション病院
院長　服部　玲治

事故や病気により脳に損傷を受けて、記憶、注意、遂行機能、言語などの機能が低下し、認知面や感情や行動などに生じる障がいを「高次脳機能障がい」と呼びます。高次脳機能障がいは日常生活や社会生活を送るうえで色々な困難をもたらします。また、脳の障害自体は目に見えるものではない為、周囲に理解されにくいという困難もあります。もともとの原因に対する治療やリハビリテーションを受けて、それらの病院を退院したら全て元通りの生活に戻るわけではなく、そのひとに寄り添った支援が必要となる場合が多いのです。しかし、実際には、病院を退院した後、必要な支援を受けられず困っておられる当事者・ご家族は少なくありません。理由はいくつかあります。ひとつは、高次脳機能障がいに対する社会的な認識と理解が十分でないため、支援に結びつかないということがあります。困ったことがあっても我慢したり、仕方ないこととして生活しておられる方もいらっしゃるでしょう。もうひとつは、高次脳機能障がいを持つ方の支援をしている場所の周知と連携が十分でないことがあります。支援をしている場所自体は少なくはありません。しかし、高次脳機能障がいを持つ方の抱える問題は一様ではなく、そのひとの障害の程度や置かれた環境によって必要とする支援も一人一人違います。専門的なリハビリテーションが必要なのか、現状にあった新しい生活の場が必要なのか、日々の暮らしに手助けが必要なのか、復職や就労支援が必要なのか、自動車運転再開の支援が必要なのか、等々ひとそれぞれです。そして、そのひとそれぞれの支援を提供する場所もそれぞれ違います。この問題は、支援する側が繋がって連携をとれれば、その人に必要な支援を提供しやすくなり、解決に近づくと考えられます。

皆さん、昨今、「地域包括ケアシステム」という言葉をお聞きになったことがあるのではないでしょうか。高齢社会の進む中、ご高齢者ができる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るように、地域ぐるみで支援するシステムのことです。そのためには、地域の医療機関・ケアマネジャー・介護事業所・地域包括支援センター・かかりつけ医・行政機関等が連携して、そのご高齢者の必要な支援をそれぞれの分野から提供できなければいけません。高次脳機能障がいの支援においても包括的に行うことができるようにしようと、大阪市中南部圏域では高次脳機能障害包括ケアネットワークを形成しました。

大阪市中南部高次脳機能障害包括ケアネットワークは、大阪市中南部圏域（阿倍野区、天王寺区、住吉区、東住吉区、平野区、住之江区、浪速区、西成区）の高次脳機能障害を包括的に支援することを目指す仕組みです。大阪府立障がい者自立支援相談センター、大阪市更生療育センター、大阪市長居障がい者スポーツセンター、大阪市中南部各区の障がい者基幹相談センター、大阪市障がい者就業・生活支援センター、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、東住吉森本リハビリテーション病院がコアメンバーとして参加しています。

このネットワークは、「退院後どうしたらいいの？」、「どんな支援を受けられるの？」、「どこにいけばいいのか分からない」、「仕事をしたい」、「自動車運転を再開できないかな」など、困った当事者・ご家族がわかりやすく適切な支援を受けることができる体制を作るとともに、高次脳機能障がいに対する社会的な認識と理解を深める啓蒙活動を行って参ります。

東住吉森本リハビリテーション病院では、大阪市中南部高次脳機能障害包括ケアネットワークも含め、高次脳機能障がいについてどのような事でも、ご相談を受け付けておりますので、お気軽にお聞きください。明けない夜はありません。

漢字クイズの答え … ① ワラビ ② シダレザクラ ③ ヤエリ ④ アサイチヨウ ⑤ キキベリ ⑥ ツクシ ⑦ チューリップ ⑧ サクラ

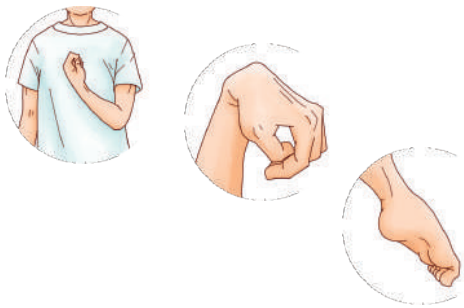
高次脳機能専門外来

患者様のニーズに合わせ、高次脳機能の底上げや就労支援、自動車運転再開などの支援を行っています。ご利用いただくには、かかりつけ医の紹介状が必要となります。

ボツリヌス外来

水曜午後　完全予約制

手足がつっぱり、筋肉が緊張して動かしにくいその症状、脳卒中の後遺症である「痙縮」の可能性があります。発症から時間が経っている場合でも諦めずにご相談下さい。



装具外来

装具に関するお悩みはありませんか？

当院では義肢装具士と協力し装具の修理や再作成、現状の状態に合う調整を行います。あなたの身体に合った装具でより良い生活が送れるように全力でサポートします。<火曜午後１時 完全予約制>

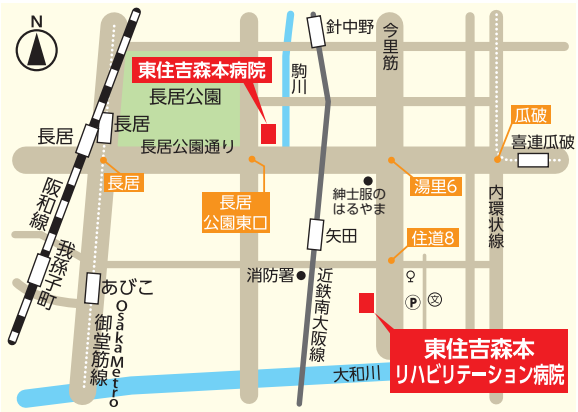
広報からのお知らせ

Instagram 始めました！！

入院してみないとわからない病院での生活や医療に関する情報を更新しています。是非ご覧ください！

MORIMOTO.REHA.HP

病院概要

〒546-0022　大阪市東住吉区住道矢田 4-21-10
TEL　06−6701−2121（代表）
　　06−6701−2200（リハ科直通）
URL　https://www.tachibana-med.or.jp/morimoto-riha/

<病院までのアクセス>
✿近鉄南大阪線　矢田駅から徒歩　約 15 分
✿大阪シティバス　天王寺から住道矢田下車　約２分
✿北港観光バス　西田辺から住道矢田８丁目下車　約３分